



臨床心理分野

子ども心理分野

社会・犯罪心理分野

心を学ぶと見えてくる わたしの新たな可能性

学びのポイント

1

心理学を社会で生かす 3つのコースで「実践力」を養成

臨床心理、子ども心理、社会・犯罪心理の3分野から、興味関心に合わせて自由に学ぶことができます。公認心理師や保育士・保育心理士などの資格取得や大学院進学などのさまざまな進路に向けてサポートします。自分自身の“好き”を見つけて成長できるカリキュラムを整えています。

学びのポイント

2

フィールドワークをはじめとした 体験型・実践型の授業

アクティブラーニングを積極的に導入し、独自の双方向型・体験型授業を実施。京都の町でのフィールドワークや実践力を養うための社会参加型授業、他職種との協働を学ぶ専門職連携科目など、学んだ知識を社会で生かすための深い学びが充実しています。

学びのポイント

3

興味に合わせて将来を広げる 充実したキャリアサポート

1年次からのキャリア教育により、一人ひとりの個性や目標に合わせた教育サポートを徹底。卒業時には約9割の学生が「自分の成長を実感できる」と回答します。学生自身が新たな可能性を発見できるように支え、心理学をキャリアに生かし、自分らしく輝ける生き方を提案します。

希望進路に応じた3コース

臨床心理 コース

心理的な支援を必要としている人の心に寄り添えるよう、心理アセスメントや心理面接による専門的支援の知識と技能の基礎を学びます。公認心理師や臨床心理士の職務の意義についても学習します。

子ども心理 コース

子どもの心の発達について知るとともに子どものこころのSOSを発見し、支援する力を身につけます。養育や保育の意義についても考察します。

社会・犯罪心理 コース

恋愛や援助など、人と人および人と社会の相互作用における心の働きについて学びます。犯罪など社会で起こる出来事についても心理学的に考察します。



大学院進学を目指す学生をサポート

2・3年次には大学院で必要となる英語、3・4年次には専門知識を深める授業を開講。また正課外でも、大学院入試対策講座を行い、学習の進め方を含めて指導しています。公認心理師を目指す学生には、1・2年次から課外ゼミで専門的な文献を講読するなど、大学院進学を強力にバックアップしています。

心理職初の国家資格 「公認心理師」を養成

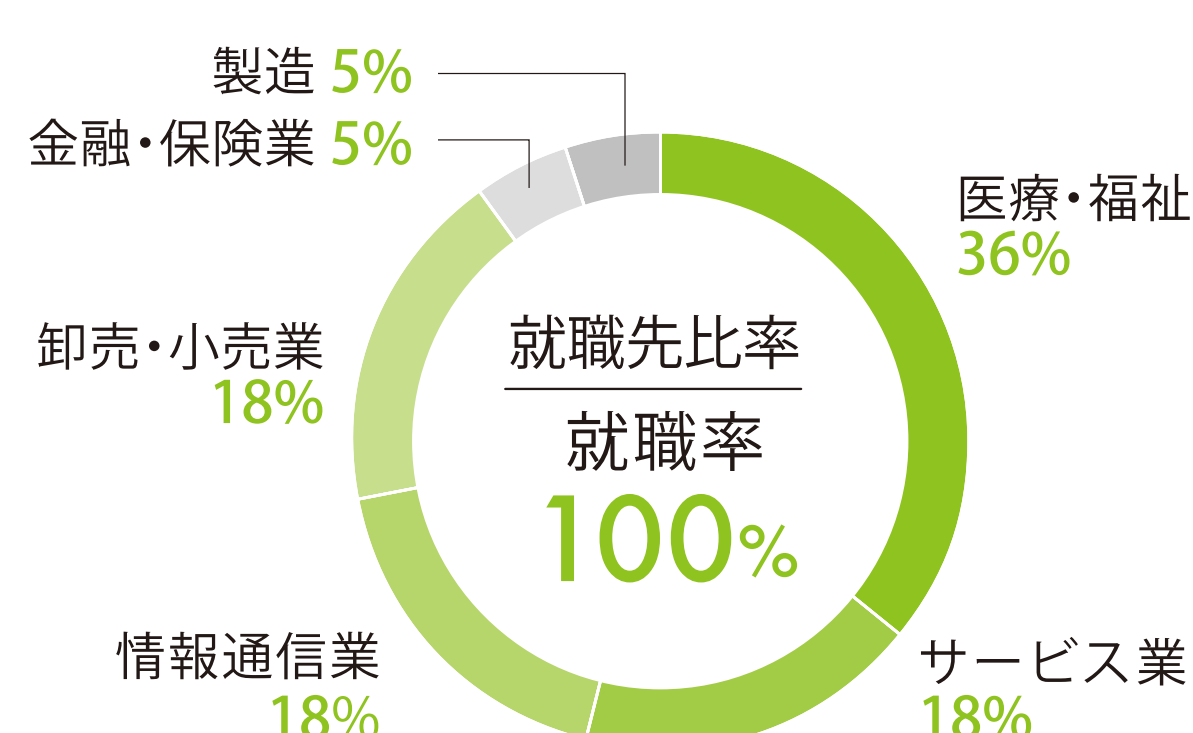
※3コース共通

取得可能な資格・免許状

- 公認心理師 (国家試験受験資格) ※1
- 臨床心理士 (受験資格/要大学院修了) ※2
- 保育士 ※3
- 保育心理士 ※4
- 社会調査士 ※5
- 情報処理士 ※5
- 認定心理士
- 児童指導員 (任用資格)
- 児童心理司 (任用資格)
- 家庭相談員 (任用資格)
- 社会福祉主事 (任用資格)
- 心理相談員 ※6

※1 大学卒業後、一定の実務経験を積み、または大学院修了によって受験資格取得。
 ※2 大学院修了によって受験資格取得。 ※3 定員があります(保育士:20名)。 ※4 保育士資格が必要です。
 ※5 他学科の教育課程を受講することで取得が可能です。 ※6 卒業後の研修(3日間)が必要です。

卒業生進路状況(2019年3月卒業生実績)



※就職率=就職者/就職希望者

心理学科 学びの特色